函館のまちづくりを考える
はこまち通信
2009
第9号
発行 ： 函館市地域交流まちづくりセンター
http://www.hakomachi.com/

TAKE FREE
ご自由にお持ちください！

もくじ

・特集 はこまち対談
「アートとまちづくり」
・シーニックバイウェイ北海道
・あなたの老後を自分で守れますか（その1）
・函館のＮＰＯレポート！
・開港１５０周年記念事業
・「まちのチカラ」
～退職・移住・音楽、そして函館の街！～
・センター長のつぶやき

まちセンサロン「市民からの提言」
～函館の路面電車～

平成21年6月7日に、まちセンサロン「市民からの提言～函館の交通～」（第3回路面電車まつり関連行事）を行いました。その中で、今の路面電車が抱える問題や今後の展望・希望・期待することなどを来場者とともに話し合いました。参加者からの意見の一部を下に記載しました。今後のまちづくりを考えるきっかけになればと思っています。あなたもご意見もお寄せ下さい。

参加者からの意見

・ガス会社の近くに住んでいるが、ガス会社周りが廃止になり、車の量が増え、商店街が衰退した。便利だし、安いし、あった方が良かった。

・廃止された路線を復活する場合、レールはないが、土台はあるので、最初から造るよりも経費はかからない。問題は必要性がどれだけあるかだと思う。

・路面電車は車の走行を邪魔して外してしまえという意見があった。今後、そういう時代はこないのか？気になるところだ。

・これから環境への規制は厳しくなっていく。世界の環境問題への要求と地球の悲鳴を考えると、函館市は、省エネルギーで活力を維持し、豊かさをも味わえる路面電車を活用していくべき。

・広告のラッピングされている電車が珍しくて面白いと言う観光客が多い。函館に来て９年目だが、函館の魅力のひとつは路面電車だと思う。雰囲気も良いし、市民の生活感が伝わってき、観光客がすぐに函館の良さを味わえる空間だ。もっと観光資源としてアピールすべき。どうしたら電車に乗ってもらえるかを考え、演出を工夫したほうが良い。

・年々利用客数は減っていく傾向にあるので、「私たちが守っていくんだ」、「経費がかかり負担がかかるかもしれないが必要なんだ」という声をあげていくことが大切。

・電車を市民がどう使っていくのか、５０年後を見据えて公共交通について考えていかなければならない。まだまだ模索できることがたくさんあると思う。

・電車が次から次へとくる。そしてたくさんの人が乗る。そうなって欲しい。